

調査研究から

令和4年のテングサ作柄について

伊豆分場では、伊豆半島のテングサの作柄を予察するために、令和4年3月上旬から4月下旬にかけて稲取地区から小下田地区にかけての計11地区、26か所でテングサの生育状況を調査しました。調査は、潜水によりテングサの着生面積及び密度を観察し、各漁場内の平均的と思われる場所1㎡のテングサ重量と藻長の測定を行いました。各地区のテングサ生育状況と作柄予察は以下のとおりです。また、漁場ごとの着生量と藻長を表1に示しました。

稲取：(令和4年：平均着生量1,195g、平均藻長17.0cm 令和3年：平均着生量1,298g、平均藻長16.8cm) 着生量と藻長は前年並み。雑海藻が多く着生範囲に広がりはない。前年並みと予想される。

谷津：(令和4年：950g、16.8cm 令和3年：1,975g、18.2cm) 着生量は減少、藻長はやや減少。水深3m以深に広く着生しているが、浅所は有節サンゴモに覆われテングサは見られない。前年よりも減少と予想される。

白浜：(令和4年：1,470g、16.5cm 令和3年：2,110g、18.5cm) 八代以外の漁場では着生量はやや増加し藻長は前年並み。着生密度に濃淡があるが、漁場に広がりがある。八代は、例年は外浦との境近くで枠取りを実施しているが、板見港側の岡よりで枠取りを実施し、着生量と藻長ともに減少。前年よりやや増加と予想される。

外浦：(令和4年：2,000g、14.5cm 令和3年：2,300g、15.0cm) 着生量はやや減少し、藻長は前年並み。浅所(水深2~3m)には高密度で着生しているが、深所(4m~)には見られない。前年より着生密度が低く、前年よりもやや減少と予想される。

須崎：(令和4年：2,050g、18.1cm 令和3年：2,350g、20.1cm) 着生量、藻長はともにやや減少。イケンダでは、前年よりも漁場に広がりが見られる。前年よりやや減少から前年並みと予想される。

下流：(令和4年：2,030g、18.7cm 令和3年：1,795g、18.1cm) 着生量はやや増加し、藻長は前年並。二つ根岡側はオオブサ、オヨジマとブダイモはマクサ主体で着生している。前年よりもやや増加と予想される。

伊浜：(令和4年：700g、10.3cm 令和3年：1,395g、18.8cm) 大久保は着生量、藻長ともに減少した。前年測定したタカンバと比較し今年測定した隣接地の瀬尻は、着生量、藻長ともに減少したが広がりがあった。前年は生産がないため、前年比は

示せないが、着生状況は悪くなっている。

雲見：(令和4年:1,245g、12.5cm 令和3年:1,233g、13.1cm) 着生量、藻長ともに前年並みで、テングサはマクサ主体で着生していた。前年並みと予想される。

田子：(令和4年:1,225g、13.1cm 令和3年:1,870g、15.4cm) 着生量は減少、藻長はやや減少した。前年より減少と予想される。

小下田：(令和4年:953g、12.0cm 令和3年:1,472g、11.8cm) 小峰・穴口では着生量、藻長ともに前年よりも減少傾向にあった。オバクサ主体であり、マクサは少なかった。前年よりも減少と予想される。

八木沢：船上から確認し、テングサの着生が見られなかったため、調査未実施。

小土肥：(令和4年:3,500g、15.3cm 令和3年:1,450g、12.7cm) 着生量・藻長ともに前年よりも増加した。テングサは斑状に着生しており、そこでは密度は高く着生量が多いが、広がりはなかった。小土肥での生産は、小下田・八木沢地区に含まれるが、2つの漁場での生産量は、前年よりも増加と予想される。

以上の結果から、令和4年のテングサ作柄を以下のように予察しました。

「漁場によって着生量に増減がみられるが、伊豆半島全体としてはやや増加と予察される。」

表1 テングサ作柄調査結果

地区	漁場名	令和4年			令和3年			令和4年 作柄予察 (前年対 比)
		着生量 (g)	平均藻 長 (cm)	水深 (m)	着生量 (g)	平均藻 長 (cm)	水深 (m)	
稲取	沢尻	820	16.4	3.0	1,160	15.2	5.8	並
	造船場下	1,530	16.3	6.2	1,400	14.1	5.8	
	藤三港	1,960	17.7	3.0	1,480	18.4	3.9	
	見高境	470	17.0	8.1	1,150	19.3	8.9	
谷津	ハツロウ	950	16.8	4.5	1,750	18.9	5.6	減
白浜	釜の下	2,350	16.8	2.2	2,000	18.4	2.9	やや増
	板見増殖場	1,700	17.3	7.8	1,430	15.9	7.4	
	八代	360	15.5	3.0	2,900	21.2	4.0	
外浦	釜の浦	2,000	14.5	3.0	2,300	15.0	3.1	やや減
須崎	イケンダ	2,030	20.2	4.2	2,150	18.8	3.9	やや減
	中間	2,070	15.9	4.9	2,550	21.4	3.5	
下流	ブダイモ*1	580	15.9	12.9	—	—	—	やや増

	オヨジマ	2,730	19.5	3.6	2,750	20.7	3.6	
	二つ根岡側	1,330	17.9	4.3	840	15.4	4.3	
伊浜	大久保	350	9.1	7.1	1,190	17.4	8.8	減
	タカンバ ^{*3}	—	—	—	1,600	20.4	9.9	
	瀬尻 ^{*1}	1,050	11.4	7.1	—	—	—	
雲見	島内	1,310	12.0	10.1	850	13.6	3.2	並
	赤島～ガップン	1,180	12.9	5.8	1,850	12.1	3.5	
	万山下 ^{*3}	—	—	—	1,000	13.8	6.5	
岩地 ^{*2}	ハギヤ浜	—	—	—	1,700	13.8	1.5	—
	ノウガハマ	—	—	—	1,120	12.3	2.8	
仁科 ^{*2}	浮島(シヨウジ)	—	—	—	1,500	12.3	4.2	—
	浮島(段)	—	—	—	1,300	13.4	2.2	
	南浜場	—	—	—	1,200	10.7	3.3	
	おてま	—	—	—	2,450	11.5	4.0	
	穴口	—	—	—	350	11.3	10.0	
田子	シケンバ	900	12.9	5.5	1,160	11.8	3.9	減
	二ノ浦	2,100	13.8	1.0	1,800	13.4	2.5	
	オヤマ合せ	900	13.9	8.1	3,200	23.4	7.5	
	弁天	1,300	11.7	1.0	1,320	12.9	1.5	
小下田	小峰	840	11.5	4.3	1,650	12.0	4.5	減
	穴口	800	11.2	8.3	2,050	14.7	7.4	
	丁田	1,220	13.2	6.3	715	8.8	7.4	
小土肥	小土肥	3,500	15.3	4.5	1,450	12.7	4.0	増

*1 前年度枠取り未実施

*2 日程の都合上未実施

*3 調査地点変更のため未実施

(角田充弘)